

平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年11月12日

上場取引所 東 名

上場会社名 大東紡織株式会社

コード番号 3202 URL <http://www.daitobo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 算 正澄

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長

(氏名) 加久間 雄二

TEL 03-3665-7816

四半期報告書提出予定日 平成21年11月12日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	4,885	△9.2	△145	—	△333	—	△565	—
21年3月期第2四半期	5,381	—	△45	—	△222	—	△270	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	△18.89	—
21年3月期第2四半期	△9.05	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	24,463	5,006	18.5	151.24
21年3月期	25,781	5,515	19.6	169.11

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 4,528百万円 21年3月期 5,063百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
22年3月期	—	0.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,170	△4.8	△30	—	△420	—	△670	—	△22.38

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
 新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
 ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第2四半期	30,000,000株	21年3月期	30,000,000株
② 期末自己株式数	22年3月期第2四半期	58,753株	21年3月期	57,853株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第2四半期	29,941,690株	21年3月期第2四半期	29,945,182株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。通期の業績予想に関する事項につきましては、本日平成21年11月12日公表の「第2四半期累計期間業績予想との差異および通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、全体としては、昨年秋以降の急激な経済情勢の悪化から持ち直しに向かいました。政府による経済対策の実施に加え、内外の在庫調整の進捗や海外経済の持ち直しにも支えられ、輸出・生産・公共投資などが増加を続けました。他方、企業の設備投資は減少を続け、個人消費においても、エコ関連の施策などにより耐久消費財に持ち直しの動きはありましたが、雇用・所得環境が一段と厳しさを増していることから弱い動きとなりました。

繊維・アパレル業界におきましては、個人消費の低迷や低価格志向の影響を受け、特に百貨店衣料分野の悪化による影響が大きく、業界全体として厳しい状況で推移いたしました。

また、不動産賃貸業界におきましては、生活必需品に支えられておりましたショッピングセンターも売上減少傾向が続いております。

このような事業環境の中で、当社グループは企画提案型OEM事業の強化とローコスト経営の徹底による収益力の向上に注力してまいりました。

繊維・アパレル事業につきましては業界全体が低迷する中、当社も埒外になく、全体としては苦戦を強いられることとなりました。とりわけ紳士服販売子会社の不振が損益面に強く影響を与えました。

一方、不動産事業につきましては商業施設サントムーン柿田川の第3期開発である「サントムーンアネックス」が業績にフル寄与したことなどの効果もあり増収となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高4,885百万円（前年同期比9.2%減）、営業損失145百万円（前年同期は営業損失45百万円）、経常損失333百万円（前年同期は経常損失222百万円）といずれも前年同期を下回りました。また、取立不能の懸念のある取引先に対する債権についての貸倒引当金繰入額等合計219百万円の特別損失を計上し、これに法人税、住民税及び事業税等を加えた結果、四半期純損失565百万円（前年同期は四半期純損失270百万円）となりました。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

(繊維・アパレル事業)

素材部門につきましては、第2四半期から販売価格を下げたことなどもあり、売上高は前年同期並みとなりました。

ユニフォーム部門につきましては、民需・官公需とも顧客が経費削減を進めていることにより受注が伸び悩み、防災関係においても新規に開発した災害対策用敷きマットを自治体等に提案いたしましたが、同様の理由で成約には至らず低調でした。他方、当期から新たに取り扱いを開始したインフルエンザ用マスクの販売につきましては比較的堅調に推移いたしました。

衣料部門のうち、メンズ衣料につきましては、価格下落傾向が続く中、当社及び紳士服販売子会社の売上が落ち込んだことにより、売上高は前年同期を大きく下回る結果となりました。レディース衣料につきましては、平成20年11月に(株)コスモエイから事業の一部を譲り受けたことによりニット・雑貨分野の売上が新たに加わったことや、布帛分野においても同社とのシナジー効果などにより健闘したことが寄与し、売上高は前年同期を上回りました。

寝装品部門につきましては、全体に苦戦する中でエコ関連商品の売上が好調に推移したことから、売上高はほぼ前年同期並みを確保いたしました。

この結果、繊維・アパレル事業は売上高3,755百万円（前年同期比13.0%減）、営業損失324百万円（前年同期は営業損失186百万円）となりました。

(不動産事業)

不動産事業は、商業施設サントムーン柿田川の第3期開発である「サントムーンアネックス」が業績にフル寄与したことなどの効果から売上高は前年同期を上回りました。

この結果、不動産事業は売上高1,129百万円（前年同期比6.2%増）、営業利益374百万円（前年同期比9.1%増）となりました。

- (注) 1. 上記の事業の種類別セグメントの業績に記載している営業利益は、セグメント間の内部取引を含んだ金額を記載しております。
2. 所在地別セグメントの業績につきましては、全セグメントの売上高の合計に占める本邦の割合が90%を超えているため、記載を省略しております。
3. 当社の消費税等に係る会計処理は、税抜方式によっているため、記載した金額には消費税等は含まれておりません。
4. 記載している見通し等将来についての事項は、本資料の発表日現在において判断したものであり、予測しえない経済環境の変化等様々な要因があるため、その結果について当社グループが保証するものではありません。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債、純資産等の状況に関する分析

① 資産

当第2四半期連結会計期間末における総資産の残高は24,463百万円（前期末は25,781百万円）となり、前期末に比べ1,317百万円減少（前期末比5.1%減）しました。これは主に、現金及び預金の減少439百万円、受取手形及び売掛金の減少670百万円、建物及び構築物の減少259百万円によるものであります。

② 負債

当第2四半期連結会計期間末における負債の残高は19,457百万円（前期末は20,266百万円）となり、前期末に比べ808百万円減少（前期末比4.0%減）しました。これは主に、支払手形及び買掛金の減少563百万円、短期借入金の減少935百万円、返品調整引当金の減少79百万円、長期借入金の増加876百万円、長期預り保証金の減少87百万円によるものであります。

③ 純資産

当第2四半期連結会計期間末における少数株主持分を含めた純資産の残高は5,006百万円（前期末は5,515百万円）となり、前期末に比べ508百万円減少（前期末比9.2%減）しました。これは主に、四半期純損失565百万円によるものであります。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、営業活動によるキャッシュ・フローで286百万円のマイナス（前年同期は830百万円のプラス）、投資活動によるキャッシュ・フローで77百万円のマイナス（前年同期は3,093百万円のマイナス）、財務活動によるキャッシュ・フローで86百万円のマイナス（前年同期は1,343百万円のプラス）となりました。

これらの各活動に加え、為替相場の変動による資金に係る換算差額10百万円のプラスを反映した結果、資金の残高は611百万円となり、前期末に比べ439百万円減少（前期末比41.8%減）しました。

当第2四半期における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは286百万円のマイナス（前年同期は830百万円のプラス）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純損失553百万円、貸倒引当金の増加131百万円、売上債権の減少673百万円、仕入債務の減少565百万円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、77百万円のマイナス（前年同期は3,093百万円のマイナス）となりました。これは主に、有形・無形固定資産の取得による支出19百万円、出資金の払込による支出57百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、86百万円のマイナス（前年同期は1,343百万円のプラス）となりました。これは主に、短期借入金の純増加額733百万円、長期借入による収入1,530百万円、長期借入金返済による支出2,322百万円によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、平成21年6月3日発表の予想数値を変更しております。詳細につきましては、本日平成21年11月12日公表の「第2四半期累計期間業績予想との差異および通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,601,683	2,040,988
受取手形及び売掛金	1,743,873	2,414,714
有価証券	9,929	—
たな卸資産	908,962	935,415
その他	324,015	245,650
貸倒引当金	△60,942	△63,973
流動資産合計	4,527,521	5,572,795
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	9,327,654	9,587,110
土地	9,343,286	9,343,286
その他(純額)	431,223	468,010
有形固定資産合計	19,102,163	19,398,407
無形固定資産	98,101	94,160
投資その他の資産		
投資有価証券	307,423	309,826
破産更生債権等	1,059,426	953,668
その他	402,347	351,145
貸倒引当金	△1,033,036	△898,430
投資その他の資産合計	736,161	716,209
固定資産合計	19,936,426	20,208,777
資産合計	24,463,947	25,781,573

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,250,751	1,814,372
短期借入金	2,939,660	3,875,154
未払法人税等	13,281	11,455
返品調整引当金	93,541	172,605
賞与引当金	28,585	35,447
関係会社事業整理損失引当金	59,904	67,000
繰延税金負債	712	446
その他	890,743	894,588
流動負債合計	5,277,180	6,871,069
固定負債		
長期借入金	7,232,740	6,356,427
長期預り保証金	3,700,340	3,787,472
繰延税金負債	3,842	3,861
再評価に係る繰延税金負債	2,941,904	2,941,904
退職給付引当金	80,480	66,194
その他	221,243	239,634
固定負債合計	14,180,550	13,395,494
負債合計	19,457,730	20,266,563
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,500,000	1,500,000
資本剰余金	503,375	503,375
利益剰余金	△1,742,031	△1,176,345
自己株式	△6,527	△6,453
株主資本合計	254,817	820,576
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	564	△7,841
繰延ヘッジ損益	△572	4
土地再評価差額金	4,264,422	4,264,422
為替換算調整勘定	9,153	△13,728
評価・換算差額等合計	4,273,568	4,242,856
少数株主持分	477,831	451,576
純資産合計	5,006,217	5,515,010
負債純資産合計	24,463,947	25,781,573

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	5,381,546	4,885,398
売上原価	4,254,018	3,887,482
売上総利益	1,127,528	997,916
販売費及び一般管理費	1,173,174	1,143,045
営業損失(△)	△45,646	△145,128
営業外収益		
受取利息	4,943	2,345
受取配当金	—	2,441
その他	15,083	6,064
営業外収益合計	20,027	10,851
営業外費用		
支払利息	177,941	183,719
その他	18,990	15,694
営業外費用合計	196,931	199,413
経常損失(△)	△222,550	△333,690
特別利益		
固定資産売却益	290	—
投資有価証券売却益	9,552	—
貸倒引当金戻入額	2,979	—
特別利益合計	12,821	—
特別損失		
固定資産処分損	3,358	51,401
貸倒引当金繰入額	—	133,416
関係会社事業整理損失引当金繰入額	—	35,000
その他	888	—
特別損失合計	4,246	219,818
税金等調整前四半期純損失(△)	△213,975	△553,509
法人税、住民税及び事業税	46,144	8,832
法人税等調整額	13,506	1,852
法人税等合計	59,650	10,684
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△2,735	1,491
四半期純損失(△)	△270,890	△565,685

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失 (△)	△213,975	△553,509
減価償却費	298,223	300,219
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△2,979	131,512
返品調整引当金の増減額 (△は減少)	△119,485	△79,064
賞与引当金の増減額 (△は減少)	1,996	△6,861
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	22,185	14,285
関係会社事業整理損失引当金の増減額 (△は減少)	—	△7,095
受取利息及び受取配当金	△8,104	△4,787
支払利息	177,941	183,719
固定資産除売却損益 (△は益)	3,068	51,401
投資有価証券売却損益 (△は益)	△9,552	—
売上債権の増減額 (△は増加)	637,352	673,174
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△24,246	28,416
仕入債務の増減額 (△は減少)	△382,568	△565,611
預り保証金の増減額 (△は減少)	481,108	△87,131
その他	145,204	△172,537
小計	1,006,168	△93,868
利息及び配当金の受取額	8,485	4,751
利息の支払額	△172,078	△190,835
法人税等の支払額	△12,103	△7,006
営業活動によるキャッシュ・フロー	830,472	△286,959
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△3,108,549	△19,357
固定資産の除却による支出	△400	—
有形及び無形固定資産の売却による収入	1,147	—
投資有価証券の取得による支出	△705	△685
投資有価証券の売却による収入	21,516	—
出資金の払込による支出	—	△57,508
その他	△6,523	370
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,093,514	△77,181
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	251,675	733,029
長期借入れによる収入	2,244,000	1,530,000
長期借入金の返済による支出	△1,151,497	△2,322,210
リース債務の返済による支出	—	△26,906
自己株式の純増減額 (△は増加)	△281	△74
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,343,897	△86,161
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,442	10,998
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△920,587	△439,304
現金及び現金同等物の期首残高	1,753,728	1,050,944
現金及び現金同等物の四半期末残高	833,141	611,639

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

- (5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)

	繊維・アパレル事業 (千円)	不動産事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	4,317,689	1,063,857	5,381,546	—	5,381,546
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	404	4,717	5,122	(5,122)	—
計	4,318,094	1,068,575	5,386,669	(5,122)	5,381,546
営業利益又は営業損失 (△)	△186,676	343,698	157,021	(202,667)	△45,646

当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)

	繊維・アパレル事業 (千円)	不動産事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	3,755,526	1,129,871	4,885,398	—	4,885,398
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	67	2,839	2,907	(2,907)	—
計	3,755,594	1,132,711	4,888,306	(2,907)	4,885,398
営業利益又は営業損失 (△)	△324,766	374,953	50,186	(195,315)	△145,128

- (注) 1. 事業区分の方法

事業区分の方法は、事業の種類類似性並びに製品の種類、性質及び販売市場等の類似性を考慮して区分しております。

2. 各事業区分の主要品目

事業区分	売上区分	主要品目
繊維・アパレル事業	素材部門	糸、織物
	ユニフォーム部門	ユニフォーム用素材、制服
	衣料部門	紳士服、婦人服
	寝装品部門	ふとん、毛布、シーツ
不動産事業		不動産賃貸、商業施設の運営・管理

[所在地別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

[海外売上高]

前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。